

**国崎定洞** 社会運動家。在独日本人の左翼グループの中心として、革命活動をするも、各国から排除され、銃殺に。

くにさきていどう

**日清戦争始**・1894 = 熊本市で、医師国崎宗英の次男に生まれる。

**日比谷公園**・1903 = **9歳** :

川越中学校,

**明治天皇没**・1912 = **18歳** :

第一高等学校を経て,

**21ヶ条要求**・1915 = 21歳 : 東京帝大医科入学(のち医学部)に入学,

在学中から社会学に興味を抱き、勃興しつつあった労働運動を見てもますます強くなるものの、人脈も無く、実践的活動に至らず、

**第一次大戦終結**・1919 = 25歳 : 卒業。細菌学を研究すべく伝染病研究所に入り、

**大暴落**・1920 = 26歳 : 技手となる。

**原敬首相暗殺**1921 = **27歳** :

志願兵として麻布歩兵第三連隊に入り、陸軍三等軍医となって、予備役に編入、

**護憲三派圧勝**1924 = 31歳 : 東京帝大医学部衛生学教室の助教授。新人会に入入りし、労農党結成準備で活動中の政治研究会に入る。

**円本時代始**・1926 = 33歳 : 社会衛生学研究のためドイツに留学、「左翼小児病」翻訳。

**金融恐慌**・1927 = 34歳 : 妻が死去。SPD大会傍聴、ベルリン社会科学研究会に参加。プロレタリアの革命的運動に共鳴し、小宮義孝ルートでモスクワへの資料送付本格化。ブリュッセル反帝評議会参加の片山と会い、以後緊密な文通。

**共産党事件**・1928 = 35歳 : フリーダと結婚、長女タツコ誕生。\*赤色救援会ドイツ支部に入会、続いてドイツ共産党入党、街頭細胞会計係となる。連絡ルート浅野晃逮捕で日本共産党との関係疑われ、官憲の圧力で医学部長が来独、

**世界恐慌**・1929 = **36歳** : 東京帝大依願免官となる。ドイツ共産党幹部講習受講。フランクフルト国際反帝大会出席(片山が国崎宅に宿泊)。革命的日本人グループを結成し、責任者となる。

**海軍軍縮条約**1930 = 37歳 : {戦旗}に偽名論文寄稿。レーニン「帝国主義論」翻訳出版。転変経てベルリン労働者地区細胞所属。

**満州事変**・1931 = 38歳 : この頃から日本共産党との連絡は公式の組織的連絡となる。国際労働者救援会大会日本代表団長。ヨベ名で「インプレコール」寄稿?

**五一五事件**・1932 = 39歳 : \*在独革命的アジア人協会結成に尽力し、組織部長になる。ベルリン警視庁より国家の安寧乱すとプロイセン外退去命令。ハンブルクでの世界水上港湾労働者組合の国際大会にゲストとして招かれる。「32テーゼ」を河上肇らに送付。独文のクートベ入学用履歴書作成して受理され、ソ連に入国。片山と頻繁に会う。

**国際連盟脱退**1933 = 40歳 : 山本懸蔵に反対されるもクートベ大学院に入学。

**帝人疑獄事件**1934 = 41歳 : 外国労働者出版所日本課長となる。山本懸蔵の内通で、密告魔コテリニコフと会談後、

**芥川直木賞始**1935 = 42歳 : コミンテルン第7回大会で翻訳係。ソ連秘密警察に監視されるようになり、コミンテルンからNKVDへの国崎に関する秘密報告書が出され、ドイツ語履歴書を書かされる。

**二二六事件**・1936 = 43歳 : ス페인義勇軍志願するも、拒否され、

**日中戦争始**・1937 = 44歳 : \*スパイ容疑で突然逮捕され、ドイツ共産党を除名された上、銃殺された。